

## 令和5年度第2回東紀州地域医療構想調整会議 議事概要

- 1 日時：令和6年3月5日（火）19：30～20：10
- 2 場所：オンライン（Zoom meetings）
- 3 出席者：澤田委員、濱口委員、石田委員、山下委員、濱畑委員、加藤委員、幸治委員、山田委員、山本委員、田中委員、河上委員、直江委員、鈴木委員、池田委員、竹田アドバイザー
- 4 議題
  - 1 病床関係について
    - (1) 2025年に向けた各医療機関の具体的対応方針の策定・検証・見直し等について（資料1）
  - 2 在宅関係について
    - (1) 第9期介護保険事業計画における追加的需要（介護施設分）見込量について（資料2-1）
    - (2) 第8次医療計画（在宅医療対策）積極的な役割を担う医療機関の位置づけについて（資料2-2）
  - 3 その他
- 5 内容
  - 1 病床関係について
    - (1) 2025年に向けた各医療機関の具体的対応方針の策定・検証・見直し等について（資料1）

<事務局から説明>

    - 公立病院経営強化プランについて、各公立病院の最終案と前回資料からの変更点等について説明する。
    - 各医療機関の具体的対応方針に係る前回資料からの変更点等を確認し、これまでの協議内容を踏まえつつ、とりまとめを図る。
    - 第8次医療計画における基準病床数の変更点とそれに伴う今後の病床整備の際の協議方法について説明する。

<主な質疑等>

    - 尾鷲総合病院、紀南病院は、距離的に、患者さんの移動は難しいが、医師が不足している分野で、医師の移動などの連携を行っているのか。
    - 平日の昼間に、医師が移動するなどはしていない。外科は同じ肝胆膵外科の医局の派遣なので、土日や休日の待機番時については、昔は緊急手術に備えて各病院2人ずつ待機していたが、もう10数年ぐらい前から、外科待機は1人にして、緊急手術の際に連携し、お互いにカバーしている。

- ただ、小児科で緊急性のある患者は北へ行っており、現実的には、地域の中で完結するというのは、難しい症例もある。

(資料1について、委員全員が了承した。)

## 2 在宅関係について

### (1) 第9期介護保険事業計画における追加的需要(介護施設分)見込量について

(資料2-1)

### (2) 第8次医療計画(在宅医療対策)積極的な役割を担う医療機関の位置づけについて

(資料2-2)

<事務局より説明>

- 地域医療構想に伴い療養病床から生じる追加的需要について、在宅医療や介護サービスにおいて対応する部分の考え方や各保険者の対応について説明する。
- 在宅医療において積極的な役割を担う医療機関の医療計画への掲載方法や今後の調査方法について説明する。

<主な質疑等>

- 在宅支援診療所において、患者をどれぐらい診ているか、看取りの実績がどれぐらいあるのかという部分を報告してもらうのもありかなと思う。
- 総力戦になっているので、県には在宅医療が足りているという認識になってほしくない。
- ⇒ 他地区でもあるが、資料には載っていなくとも、実際には往診、在宅医療をしっかりとやっている医療機関が結構あるということは、県として認識している。それをどう一般の方に示していくか考えないといけない。
- 在宅医療において積極的な役割を担う医療機関の位置付けを希望する医療機関とあるが、希望するというのが、引かかる。必要であれば頑張ってくださいよという意味で同意しているので、位置付けに同意する医療機関などの表現の方が良いのではないかと思う。
- 全然知らないところから紹介されてもなかなか対応が難しいので、外している先生も結構いるんじゃないかなと思う

## 3 その他

<事務局から説明>

- 東紀州地域においては、紹介受診重点医療機関となる意向を示す医療機関がないため、引き続き紹介受診重点医療機関の選定はないものの、希望する医療機関があった際には改めて協議させていただく。

<主な質疑等>

なし

**全体を通じて**

<主な質疑等>

- 調整会議以外にも、フランクに話ができる別の機会があると、地域の状況について情報共有できるのではと思う。

以上